

My Stars 通信

No.44

December 2016

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』44号ができましたのでお送りします。2016年10月末現在の登録者数は9501名です。



日本海の荒波（豊岬海岸）

初山別村は日本海の北部にあり、冬は北からの冷たい強風に晒され、海上には白波が立ちます。台風並みの風が吹くと海一面に白波が立ち、海が白く見えることもあります。また波が強風にさらされると泡が飛びます。“波の花”と呼ばれ、観光客には珍しさのためかウケますが、塩の泡ですから地元では金属を錆びさせる厄介者です。車についたらすぐ洗車です。こんなに波があってもカモメたちは平然としています。中には波が高いと喜んでいる(?)カモメもいます。冬から春までシベリアや大陸からオジロワシやオオワシがたくさんやって来るので、猛禽好きの人たちは喜んでいる・・・かも。

綺羅星・星座ガイド

◎おひつじ座

おひつじ座は、西暦150年頃プトレマイオスが作った48星座のひとつで、誕生日星座でもおなじみの星座です。当時は春分点がおひつじ座にあったため（現在はうお座にある）、特に注目されていた星座のひとつです。季節では秋の星座になり、うお座とおうし座の間にあります。特に明るく目立つ星はありませんが、おひつじ座のすぐ東には、おうし座のプレアデス星団があります。ギリシャ神話では、金色の毛を持ち空を飛べる牡羊だということです。



おひつじ座の星は頭の部分にある2等星、3等星、4等星の3個の星がやや目立つ以外、暗い星が多く目立ちにくい星座です。明るく目立つ星雲や星団はありませんが、頭の部分にある二重星は小型の望遠鏡でも見えるのでご覧ください。羊の角の下にある γ 星は4.7等星（白）と4.8等星（黄）という似たような明るさの星が並んでいます。もう一つ、頭の上にある λ 星も見てみましょう。 α 星ハマルと β 星シェラタンで低い三角形に並んでいます。4.8等星（青）と7.4等星（紫）からなる二重星で、伴星はやや暗いですがよく見れば見つかるでしょう。色はやや大きめの望遠鏡のほうが見やすいです。

◎つる座

みなみのうお座の南にある星座で、1603年にバイエルが作った星座ですが、それより前に、イスパニアの船乗りたちはフラミンゴの姿に見ていたようです。古代エジプトでは、空を舞う鶴の姿が天体観測のシンボルとされていたようです。

中央に並ぶ α 星（右）と β 星（左）は共に2等星で、みなみのうお座のフォーマルハウトより少し暗いだけなので結構目立ちます。ただ、この



星座は日本の南と北では見え方に大きな差があります。南に位置する沖縄方面では全体が高く上がり、空を飛ぶ姿が見られます。関東方面では α 星、 β 星は水平線から8度くらいで地面に降りたツルの姿、青森からは2度しか上がらず、水の中に佇む姿で、低空の大気の濁りから暗く見えます。初山別では水平線下になるため、地平線から首だけだしているツルの姿でしょうか。南に低いため特に注目に値する星もなく寂しい限りです。

◎文房具や科学教材の星座

(コンパス座、定規座、南の三角座、望遠鏡座、顕微鏡座)

星座の多くはギリシャ神話をもとに西暦150年頃作られました。星座が作られたヨーロッパからは水平線の彼方にある南の星は見えません。その後15世紀に入ると大航海時代が始まり、旅先で発見された生き物や、発明された道具などが星座として加えられていきました。

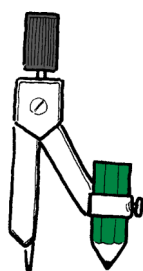
その中に学校や普段の生活の中などでもよく使われる、おなじみの道具が星座になったもの

もあります。この5つの星座は18世紀にフランスのラカーユが作った星座です。



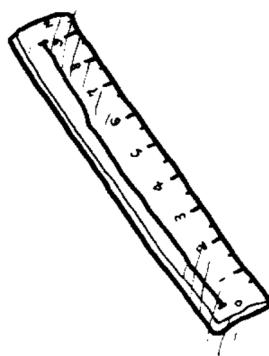
●コンパス座

円を描くおなじみの道具です。ケンタウルス座リギルケンタウルスの東にある小さな星座で、南に低いため沖縄方面でも上半分が見えるだけです。3~5等星が細長い三角形を作っていますが、水平線ギリギリのため見るのは難しいでしょう。



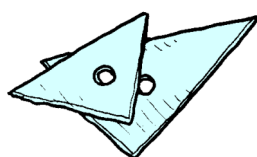
●定規座

星座絵では直定規と直角定規が描かれています。さそり座の南にある星座で、一番明るい星でも4等星がひとつ、ほかは5等星以下と暗く、南に低いため見つけるのは難しい星座です。鹿児島県あたりではほぼ全体が見えますが、北海道では殆ど見えません。



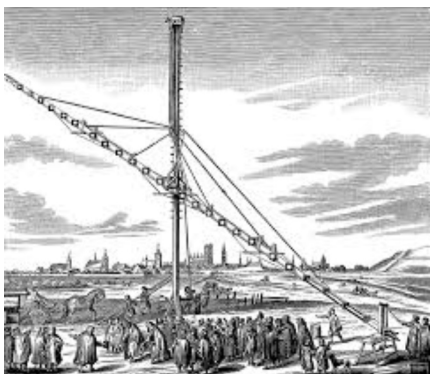
●南の三角座

三角定規の星座です。定規座のさらに南にあるため日本からは見る事が出来ません。3個の3等星が正三角形を少し伸ばしたような二等辺三角形に並びます。南半球で見ると高度が高くなり、三角形が割合目立ちます。



●望遠鏡座

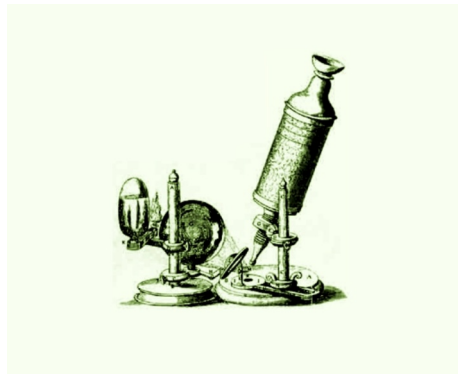
いて座の南にある星座で、当時使われていた望遠鏡を星座に加えたものです。星座絵を見るとみなみのかん



むり座まではみ出しています。昔は星座の境界線が曖昧で大ざっぱに決められていたのですが、現在は緯度と経度でしっかりと決まっているので、このような“はみ出し”がいくつもの星座で起こっています。明るい星でも4等星で、南に低いため見つけにくいでしょう。鹿児島県以南では全体が見えますが、北海道では全く見ることは出来ません。

●顕微鏡座

やぎ座の南にある星座で、北海道より南の地方では全体が見えます。



この顕微鏡は、当時(18世紀)

医学のために使われていた顕微鏡を星座にくわえたもので、星の配列は顕微鏡の姿を表していません。明るい星でも5等星が4個あるだけで、星座の形を見つけ出すのは難しいでしょう。

◎狼座

おおかみ座はさそり座とケンタウルス座の間にある星座で、プトレマイオスの48星座に含まれる古い星座のひとつです。もともとはケンタウルス座の一部だったようで、ヒッパルコスが独立させたとされています。星座絵ではケンタウルスに槍で突かれるオオカミの姿として描かれています。関東南部より南では全体が見られますが、初山別からは上半分しか見られません。

特に明るい星はありませんが、オオカミ

の胴体部分には4個の3等星を含む110個ほどの星が一団となって、秒速24kmというスピードでカノープス（かじき座の1等星）の方向に移動している集団があります。

おおかみ座には特に見やすい星雲や星団はありませんが、二重星は多く小型の望遠鏡で見えるものもたくさんあります。ただ、地平線からの高度が低いため、大気のゆらぎが大きかったり濁っていたりすると見づらいこともあります。



星図はステラナビゲーター10（アストローツ）にて作成しています。

綺羅星列伝

今回は3遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前： Asae & Ryouta Love



息子の小学校入学のお祝いに、こちらで双子座を購入させていただきました。

綺羅星列伝「STAT OF RYOUTA」に掲載されまして、クリスマスのプレゼントと粋なはからいで感動しました。その息子が結婚する事になり、嬉しい気持ちで溢れている時に再び初山別マイスターズシステムさんからお知らせが!

26歳になる息子は社会人として働いておりましたが、(静岡)私が手首を痛めてしまい家業を継ぐ事となり今は仙台の専門学校に通学しており

ます。(鍼灸師)

彼女との出会いは、母親(私)の後輩でして、昨年の春4月に3人で東京へ研修会に行った際、私が愛のキューピットとなり今年めでたく婚約と相成りました。国家試験合格と卒業と同時に入籍の運び・・・そして7月に念願のハワイ挙式♡ 夢の様な出来事が次々とトントン拍子です。昨年まではとてもつらい日々を送っていました。母や父が次々に病気で亡くなり、13年間介護していましたので、楽しい事は少なかったように思いますが、常に笑顔を絶やさず「きっといい事がある!あの星が見ているのだから」と心の中で呟いて息子の幸せを願っていたのです。

つらい時も悲しい時も楽しい時も流る星は知っているのです 私達家族は皆鍼灸師ですので、宇宙にまつわる伝説や理論を学んでいて、天体観測が大好きなのですよ!今年の夏、息子夫婦と星空を観に初山別に参ります。有難うございました。全てに感謝です。

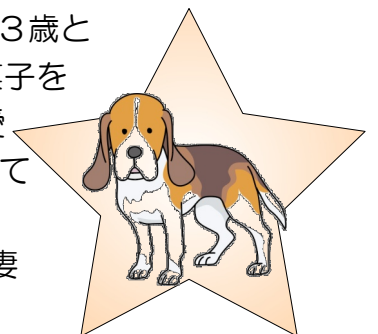
結婚のお祝いに2人に星をプレゼント

母より

星の名前：「ramutarou」の由来

我々にはひとり息子(ビーグル犬)がいました。2010年の5月に13歳と5か月で亡くなりました。遺骨は部屋に置かれていていまだにお花やお菓子を絶やさず供えて居ります。この息子の名前はラム(ラムダ)と言います。愛称がたくさん(ラム、らむの助、らむのしん、らむちゃんなどが)あってその一つが「ラム太郎」で星の名に選びました。

20年以上前、当時私は海外をも含め出張が多く大変忙しくして居り、妻一人では不用心でした。そこで動物好きの妻が番犬を飼おうと言い出し、ラムダが我が家にやってきたわけです(ただ実際は大変フレンドリーな性格だった為か、番犬とはなりませんでしたが)。まだ生まれて一か月半だったので手のひらに乗る程



の大きさでした。子供がいない我々にとってはまさしく子供同様に育て上げました。私はそれほど犬好きではありませんでしたがだんだんと情が移り、いつしか子供扱いとなって居りました。こうなってくると不思議なもので、血の繋がりもない筈なのに、ご近所や知り合いから「失礼だけど、ラムダちゃんご主人にそっくりじゃない。」とよく言われたようです。実際私自身外見だけでなく性格もそっくりのようになって居りました。1997年から8年間シンガポールに赴任した折も手続きは大変でしたが同伴し、3人で楽しく海外での都会生活を送る事が出来ました。残念ながら帰国後数年で亡くなりましたが、その折にはご近所から沢山の花束を頂き、改めて出来過ぎた我が息子ラムダの偉大さに驚かされました。掛け替えのない素晴らしい思い出をプレゼントしてくれたラムダに感謝を込めて、星の命名をお願いした次第です。

星の名前： Star of golden Wedding

平成28年度は私達夫婦にとりまして、結婚以来50周年（金婚式）を無事迎えることが出来た記念すべき年であります。

その間、妻洋子には、結婚前に経験したことのない難関に遭遇し、その都度「あたふた」せず冷静沈着に、しかも、苦言を発することなく、乗り越えて家族の安泰のため中心となって当家の嫁として、私の妻として黙々と、その役割を果たして参りました姿には頭がさがる思いで、心から敬意と感謝、労いを考えていたところです。ありふれた金品よりも、宇宙を舞台にした My Stars system が何より喜んでもらえるプレゼント。しかも、これを次世代に継続されていく良いチャンスと考え、登録させて頂きました。



第1話

年を取った病弱の父母（大姑め）の世話をし乍ら夫である私の「出来の悪い弟と妹達の（小姑）」の面倒を愚痴ひとつこぼさず笑顔で対応していたこと。それに加えて、私の勤務は長時間の連続の上薄給で収入も少なく、6人家族の生活の切り盛りを見事にやってのけたこと。当時はこんな苦労もせずもっと良い生活出来たであろう（私のところに来たばかりに・・・）と思うと、何とか本人に喜んでもらえるものは？と思案中のところ私の出来得る最大のプレゼントとなりました。

第2話

オリオン座の周辺に私の命名した登録の星（Star of golden Wedding）が、この広い宇宙にキラキラと輝いていることを娘達と孫達に継承してもらい、それぞれの人生を歩む途中で困難に遭遇し、自分自身で解決不能になったときは、私のこの星に向かって問いかけて見たら、必ず良いアイデアが浮かぶものと信じて、人生を切り開いてもらいたく・・・申し送りをし、この星に私自身の思いを託し、天命を全うすること決心致しました。

こちら情報室

○天文情報（12月～5月）

流星・彗星

●ふたご座流星群（12/5～12/20）

毎年たくさんの流星が見られる“三大流星群”の一つで、今年の極大は12月14日で一晩中見えますが、満月がふたご座の足元にあるため明るく、観測には悪条件です。月明かりが直接見えないように、建物で遮ったり、月と反対の方向を見るなどの工夫が必要でしょう。

●しぶんぎ座流星群（1/1～1/7）

新年早々に見られる流星群で、3日の夜中がピークです。月明かりもなく絶好の条件で、3日の夜中から4日の明け方が見やすいです。

●こと座流星群（4/15～4/25）

ベガの近くを中心に流れる流星群で、22日21時ころがピークと見られています。1時間あたり5～10個ですが月明かりもなく絶好の条件です。

●みずがめ座 η 流星群

ハレー彗星を母天体とする流星群です。5月6日の末明がピークで、月が沈んだあとなので好条件です。北の地方では流星が見られる頃には空も明るくなって不利ですが、南の地方では明け方の2～3時間くらい見られるでしょう。

◎彗星

●タットル・ジャコビニ・クレサク彗星

3月から4月にかけて北斗七星付近で双眼鏡でも見えるようになると予想されています。

他に5～7等級になりそうな彗星はいくつかあるようですが、肉眼で見えそうな彗星はありません。ニュースに注意しましょう。



日食・月食・星食

●アルデバラン食：1月9日、4月1日、

5月26日に見られますが、4月1日は夕方の西空で好条件です。1月9日は夜中、5月26日は太陽に近く困難です。

●日食、月食はありません。

●惑星食は1月30日に海王星食がありますが、日本からは見られません。

惑星

●水星：1月19日、5月18日は明け方の東空で、12月11日、4月1日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

4月1日のアルデバラン食（出現直後）



- 金星：夕方の空で1月12日に最大離角、1月19日に最大光度、3月25日に内合となって以後明け方の空に移り、4月30日に最大光度、6月3日に最大離角となります。
- 火星：夕方の南西に見えますが、遠く小さくなって観望には適しません。次の接近は2018年7月です。
- 木星：しし座からおとめ座に移動して明け方の空に見えます。4月8日に地球に接近し9月まで見られます。
- 土星：太陽に近くしばらく休みで、1月中旬以降明け方の南東の空に見えてきます。次の接近は6月15日です。
- 天王星：2月頃まで夕方の空に見えます。
- 海王星：12月頃まで夕方の空に見えます。

■その他の天文現象

- ・1月1日火星と海王星が夕方の西空で大接近。
- ・2月25日ころくじら座の変光星ミラが極大。
- ・月面Xが見える（1月5日16時ころ、3月5日20時ころ、5月3日20時ころ）。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号9501までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えております。今後も郵送希望者にはご一報いただきたくお願いします。

~~~~~

#### [編集後記]

今年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで盛り上がりました。たくさんの選手たちが力や技を競い合い、大きなトラブルもなく無事終了しました。2020年は東京での開催が決まっていますが、大会まで4年を切ったこの時期になって色々揉めているようです。大丈夫でしょうか。

この夏は7月まで台風がひとつも発生せず、台風の少ない年かなと思ったら、その後立て続けに発生し猛烈な風、大雨、土砂災害などが各地で多発しました。ここ数年同じことを言っているような気がします、年々ひどくなってきていますね。迷走する台風も多く、8月には北海道に1週間で3個の台風が上陸し、岩手県では観測史上初上陸し、秋田県を通過して多大な被害を与えました。被災地では土砂の流失や河川の浸食、流木による漁業被害など、農林水産関係に大きな被害が出ているようです。地震も熊本・大分に続いて鳥取などでも大きな揺れがありました。そんな中道内では、日本ハムファイターズの日本一という明るい話題もありました。

|           |                                                                                                            |                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台                                                                                                  | 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7         |
| 天文台ホームページ | URL= <a href="http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/">http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/</a> |                                      |
| E-Mail    | 教育委員会                                                                                                      | kyoui.syakyou@vill.shosanbetsu.lg.jp |
|           | しょさんべつ天文台                                                                                                  | tenmon@arens.or.jp                   |